発言順位	6　番

一般質問発言通告書

下記事項について質問をしたいので、会議規則第５１条第１項の規定により通告します。

平成２６年　９月　９日

三島市議会議長　　土屋　俊博　様　　三島市議会議員　　３番　土屋利絵

質問事項１	三島市財政の今後の方向性について

具体的内容　平成２５年度の決算が出されました。景気の回復を受け、市税が増額になり、財政規模も去年より増えています。そして、借金現在高も去年より１億４千６百万円増額になりました。税収を増やし、街を盛り上げていくことは三島市にとって大切なことです。しかし、子どもたちのために、負債をできるだけ残さないことも、今を生きる私たちの大切な役割です。

三島市には３０年以上たった公共施設が多く、幼稚園、学校に至っては６８％が３０年以上経過した建物です。当局の試算では、三島市の公共施設を今後老朽化したものから順に全てを建て替えると１，７８０億円、今後６０年間で毎年３０億円の金額が必要になると出されました。三島市の財政力からすると、いったいどのくらいのお金を建て替えのためだけに使うことができるのか、その金額を財政計画にこれからどのように組み込んでいくのか、お伺いいたします。

１．平成２５年度決算では、借金残高が増え、実質的に基金が減っているが、これをどう捉え、今後どのように対応していくのか。

２．三島市の公共施設全てを老朽化したものから順に建て替えると、今後６０年間で毎年３０億必要になります。実際、支出できる金額はどの程度になるのか。

３．その金額を、財政計画にどう反映させていくのか。

４．経費削減のために事業仕分けなどを活用してはどうか。

５．補助金、負担金の適正化について。

質問事項２	これから求められていく学校のありかたについて

具体的内容

地方教育行政法の一部改正により、教育委員会の大きな改正が行われ、来年４月から施行されます。子どもが通学しやすく、学びやすい環境づくりのために、どうしていくのか、そこにどのように民意を反映していくのか、お伺いいたします。

１．この改正の目的は何か。

２．改正の内容は三島市にとってどう影響があるのか。

３．さらに民意を反映させていくためにどのように考えるか。

４．より身近な学校に通学できるためにどのように考えるか。